

出会ってみよう！国際協力
JICA 関西のプログラム
あなたの教室と世界を
結びます

出会ってみよう！国際協力
JICA 関西のプログラム
あなたの教室と世界を
結びます



学校や地域での国際理解、主体的で対話的な学びの実践に

世界を知ろう、考えよう

開発教育支援事業のご案内



グローバル教育

主体的で対話的な学び
(アクティブ・ラーニング)

キャリア教育

国際教育

ESD
(持続可能な開発のための教育)
SDGs
(持続可能な開発目標)

多文化共生

環境教育

修学旅行
スタディツアー
フィールドワーク
(事前学習等)

What's JICA?

JICA は国際協力機構(Japan International Cooperation Agency) のことです。

日本が実施する政府開発援助(ODA)の二国間援助を行う実施機関で、世界 150 以上の国と地域、日本国内 15 ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。

開発途上国が抱える課題に対し、日本が持っている解決策(技術や経験、人材、資金や資材等)を活用してその国のより良い国づくりに協力しています。

JICA は日本と開発途上国との「架け橋」となって、国際協力事業に取り組んでいます。





JICA 関西の開発教育支援プログラム

世界を知って、 考えて、行動しよう！

グローバル化が進む世界では、地球に住む私たち自身が自らのライフスタイルを見つめなおし、国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

JICA では、日本政府が行う開発途上国における国際協力事業で培った知見・経験・人材を活用し、日本の地域や学校の教育現場で「国際協力への理解と参加促進」「未来の地球を担う人材育成」を目的に開発教育支援事業を実施しています。

世界の多様性や日本と世界との関係等を理解し、世界の諸課題を「自分ごと」として主体的に考え、自ら行動できるグローバル人材の育成の一助として、JICA の開発教育支援事業をご活用ください。

Contents

教室に世界がやってくる！

JICA 国際協力出前講座 ----- 4

日本の国際協力を知ろう！

JICA 関西訪問プログラム ----- 5

世界の人たちと交流しよう！

来日行政官・技術者との交流 ----- 6

世界を見つめよう！

**JICA 国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト** ----- 7

世界に飛び立つ！

教師海外研修 ----- 8

授業に役立つ！

開発教育指導者研修 ----- 9

授業で使える！

お役立ちサイト ----- 9

教室に世界がやってくる！

JICA国際協力出前講座



国際協力活動体験談、開発途上国現地紹介、国際協力の概要等について、JICA 海外協力隊（ボランティア）経験者、JICA 留学生（日本の大学院で学ぶ開発途上国の行政官・技術者等で、将来の国のリーダーたち）、JICA スタッフ等がみなさんのところに向いてお話しします。現場で活躍した人だからこそその貴重な体験談やエピソードをお届けします。

国際教育や総合的な学習の時間だけでなく、人権、平和、環境、多文化共生、キャリアなどの学習や学校内外での教員研修などにご活用ください。

■申込からの流れ

こんな講師いるのかな？

- 下の問い合わせ先へまずはお相談ください。
- 依頼が決定したら、ウェブサイトに掲載の申込書で正式にご依頼ください。

どんな授業にしようかな？

- 担当者が依頼に沿った講師を紹介します。
- 当日までに、講師と打合せを行ってください。
- よりよい学習のために、事前・事後学習などを行えばさらに効果的です。

いよいよ当日!!

- 実施後は、評価アンケートを提出してください。

内容 ご希望に応じた講師を紹介します。講師との連絡調整に時間を有するので、少なくとも 1 か月前までにご依頼ください。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますので、ご了承ください。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

実施日 通年

費用 講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いしています。謝金については、団体・学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり 1 時間 4,600 円（JICA 規程に基づく）です。

問合せ先 JICA 関西国際協力出前講座担当

TEL. (078) 261-0341 FAX. (078) 261-0357 E-mail : jicaksic-ed1@jica.go.jp

出前講座



URL

体験者の声

JICA ボランティア体験談を聞きました。

- 実際に開発途上国で活動した人でしか撮れない写真や動画を見せていただき、リアルな現場の話が聞けてよかったです。
- 途上国の状況や子どもたちの様子がわかり、その国を身近に感じました。

日本の国際協力を知ろう！

JICA関西訪問プログラム



▲ JICAかんさい地球ひろば(広報展示室)で、見て！触って！感じる！



▲ 開発途上国での体験談を聞く



▲ 月替わりのエスニック料理の一例
(団体人数によってはランチボックスで提供します)

国際協力の国内の現場である JICA 関西を訪問し、国際協力や異文化について学び、日本と世界とのつながりに気付くプログラムをご用意しています。

学校の社会見学や修学旅行、教員研修などにも多くご利用いただいています。

■基本的なプログラム(120分)

10:00-10:30 JICA 事業概要説明(世界の国の現状や、JICA の仕事について知ろう！)

10:30-11:30 JICA 海外協力隊体験談(JICA ボランティアの活動や派遣された開発途上国の様子を知ろう！)

11:30-12:00 JICA 関西 館内案内(施設見学、民族衣装体験など)

*その他、エスニック料理ランチ(有料)などのプログラムもご用意できます。

内容 上記のプログラム(120分)を基本としてご用意していますが、ご要望に応じてアレンジが可能です。まずは、ご相談ください。※校外学習などであっても個人からの依頼には対応しません。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますのでご了承下さい。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

人数 最大 80 名程度まで対応できます。1 名～5 名などの少人数の場合は対応できない場合がありますのでご了承下さい。

実施日 通 年(月曜日～金曜日、土日祝を除く 10:00-17:00)

費用 無 料

問合せ先 JICA 関西訪問プログラム担当

TEL. (078) 261-0341 FAX. (078) 261-0357 Email: jicaksic-ed1@jica.go.jp

訪問プログラム



URL

体験者の声

JICA 関西に行きました。

- 日本がなぜ国際協力を行っているのか分かりやすく説明して頂きました。
- 日常生活の中でも問題意識を持つこと、自分にできることは何かを見つめることができました。
- 普段あまり触れたり感じたりするこがない途上国や国際協力という事柄に関して考える機会となりました。

世界の人たちと交流しよう！

来日行政官・技術者との交流

JICA プログラムにより開発途上国から来日した行政官・技術者ら(※)が、関西 2 府 4 県の学校等を訪問し、実際に交流するプログラムです。学校等のお申込み団体にて半日～1 日の交流プログラムを企画していただき、双方向コミュニケーションを行います。世界各国から来日する開発途上国の国づくりの中核となる人材である行政官らと対面でコミュニケーションができる貴重な機会です。

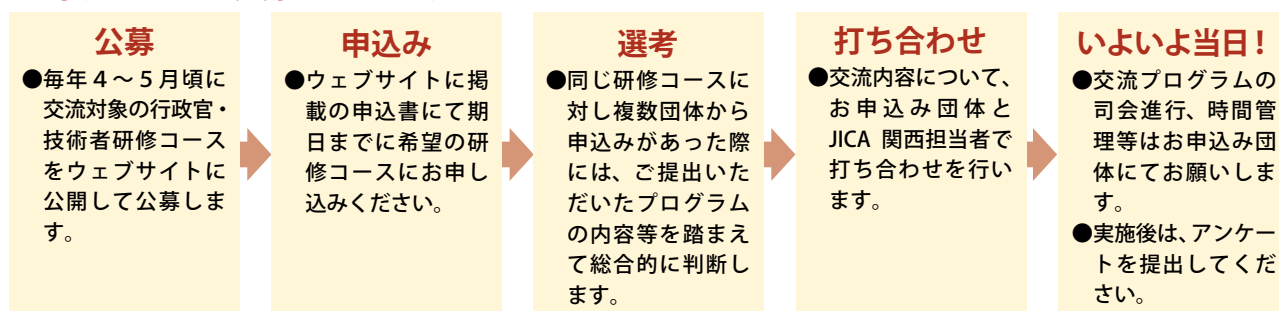


※ JICA は、日本が有する知識や技術・経験を開発途上国の発展に役立てるべく、国づくりの中心となる行政官・技術者・研究者などを対象に、教育・医療・農業・防災など様々な分野の研修を実施しています。

■プログラムの一例（高校の場合）

- 13:30 歓迎セレモニー・自己紹介
- 14:00 日本の授業見学
- 15:00 小グループごとの交流プログラム（生徒からの日本文化・地域紹介、行政官らの母国紹介、日本の遊び等）
- 16:00 部活動見学
- 16:30 プログラム終了

■申込みから実施までの流れ



■申込みに際しての留意事項

- ・公募は 4～5 月に一括して行い、交流実施は年度当初に決定しますが、交流日の決定は研修コース開始の約 2 か月前です。また、決定後も、研修日程の都合上、交流日が途中で変更となる場合があります。
- ・交流は半日～1 日に限ります。また、実施時間は、原則として JICA 関西発（神戸市中央区）9 時 00 分頃から JICA 関西着 17 時頃（半日の場合 13 時頃）までとなるようにプログラムを組んでください。
- ・来日行政官らは英語またはその他の言語を話し、日本語は話しません。プログラムで通訳が必要な場合は申込書に通訳希望の旨を記載ください。

- 対象** 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など
- 費用** 無料（交流に必要な費用はお申込み団体にてご負担ください。）
- 問合せ先** JICA 関西行政官・技術者交流担当

TEL: (078) 261-0341 FAX: (078) 261-0357 Email: jicaksic-ed1@jica.go.jp

来日行政官・技術者
との交流



URL

体験者の声

それまで知らなかった国の人たちと楽しく交流しました。

- 書道体験を自ら積極的に楽しそうに行っている研修員さんを見て、私たちも楽しかった。英語がペラペラじゃなくても、身振り手振りや伝えたい気持ちがあれば文化・言語の壁を越えることができたので、とても嬉しかった。
- 普段使っている英語とは全然違い、それぞれの国のアクセントを持った英語に理解するのが難しかったが、言葉でなく伝わるものもあり、とても濃い時間になった。
- （先生より）生徒が JICA や国際協力に関心を持つきっかけとなりました。

世界を見つめよう！

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

国際社会の中で自分ができることは何か、また、自分たち一人ひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的にエッセイコンテストを実施しています。開発途上国の状況、友達との会話や学校の授業、本や新聞などを通して感じたこと、自分自身の体験から知ったことなどを基にエッセイを書いてみませんか？上位入賞者は、JICA が活動している開発途上国へ赴き、実際にその国の現状を見て聞いて感じる体験をすることができます（※）。夏休みの課題として、是非ご応募ください。
※実施時期等の概要は参加対象者に別途連絡します。



【お知らせ】これまで 60 年以上にわたり毎年開催してきました JICA エッセイコンテストですが、昨今の学校現場のニーズや時代の変化を踏まえ、そのあり方を検討してまいりました。その結果、エッセイコンテストを複数の取組へ変化させていくこととし、エッセイコンテストは 2025 年度の募集をもって終了することといたしました。2025 年度のエッセイコンテストは、2025 年 6 月より募集を開始する予定です。2025 年度で最後となりますが、より多くの方々からのご応募をお待ちしております。

■中学生の部 外務大臣賞

「Base Hope」

大阪市立北稜中学校 3 年 飯田 理人さん

僕の家は決してお金持ちではない。しかし、それでも僕は恵まれている、と言い切れるには理由がある。

それは 14 歳の春、「空飛ぶ車いす活動」でベトナムの都市ホーチミンを訪れた時のことだった。「貧困」という言葉の本当の意味を、僕は痛感した。「空飛ぶ車いす活動」というのは、日本で使われなくなった車いすを工業高校が分解・整備・再生し、アジア諸国で必要としている方へ届けるというボランティア活動だ。参加した動機は、毎日学校と野球の練習で疲れていたので、気分転換にという漠然としたものだった。

ホーチミンの中心部は、新しい建物が並んでおり、車やバイクが行き交うとても活気がある街だった。ところが、1つ裏通りに入ると、景色ガラッと変わった。古びた服を着た素足の子供や、白髪のお年寄りが地面に座っていた。道も舗装されておらず、歩きにくい。あまりの風景の落差に驚いていると、突然「マネー」と声をかけられた。振り返ると、まだ 7 歳ぐらいの女の子が、小さな赤ちゃんを抱きながら手を前にし、お金をねだってきたのだ。怖くて走り去ろうとした僕は、一瞬その子と目が合った。ひどく悲しく、やるせない気持ちになった。

ベトナムは経済発展の段階にあり、物価が高騰してきている。そのため、物価上昇についていけず、貧困状態に陥る人も多い。高収入を得ようにも、教育が不十分。学べる機会に恵まれたとしても、それを活かす産業がない。

あまりにも問題が大きすぎる。個人にできることなんてあるのだろうか。野球しかやってこなかった僕に出来ることなんて、なおさら無いだろう。

野球？ そうだ。「空飛ぶ車いす活動」、あれを普段使っているグローブにも適用できないだろうか。もともとグローブは衝撃に強く、耐久性が高い。メンテナンスさえすればいつまでも使い続けることが可能だ。ものによっては 1 つ数万円以上する、高級品である。調べてみると、ベトナムでは 2022 年から野球選手権が開催されているらしい。野球というスポーツが、これから広がっていくと思う。

アイデアはこうだ。部活動で不要になったグローブの寄付を日本各地に呼びかける。修理は協力してくれる団体をお願いし、それらをベトナムに寄付する。ベトナムで役目を終えたグローブは、財布としてアップサイクルが可能だ。ひょっとすると靴も作れるかもしれない。僕が独自の革産業を発展させるための起点となり、その日暮らしの人々を少しでも笑顔にする未来があるのではないかと。

野球を通してベトナムと文化交流を行い、使った道具は廃棄するのではなく、産業として活用する。これで本当にベトナムの貧困問題が解決できるかといえば分らない。ただ、野球が盛り上がり、いつか日本とベトナムで試合が出来ると思うとわくわくする。そして、僕もいつか自分のグローブを財布にして、得たお金をあの時の女の子に渡したいと思う。

対 象 全国の中学生、高校生

内 容 テーマは毎年変わります

詳細 JICA 地球ひろば HP の JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストのページをご確認ください。

⇒<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

エッセイコンテスト



URL

世界に飛び立つ！

教師海外研修

開発教育／国際理解教育に関心のある教員を、国際協力の現場へ派遣し、その経験や学びを活かし、児童や生徒への授業を実践していただきます。

海外研修では、実際に海外の現場に足を運ぶことで、文字や映像ではわからない開発途上国の現状を目の当たりにすることができます。現地の学校訪問、JICA 事業の現場視察や現地の人の生活状況を調査し、帰国後の授業実践に向けた材料収集を行います。



対 象 開発教育・国際理解教育に関心のある学校教員および教育委員会指導主事

募集期間 4月上旬～5月中旬

派遣人数 関西2府4県から10名程度

事前研修 6月～7月 **海外研修** 8月上旬頃

事後研修 8月 **所属先での授業実践** 8月～12月 **授業実践報告会** 翌年2月頃

費 用 【JICA 負担】海外渡航費、海外旅行保険料、空港使用税など

【参加者負担】現地宿泊代、食費、旅券取得時に必要な費用、予防接種料など

詳 細 派遣国、応募要項など詳細は JICA 関西 HP 教師海外研修のページをご確認ください。

教師海外研修



URL

体験者の声

盛りだくさんのプログラムで、毎日新しいことを学び感じられる研修であった。

- 今後の教師生活の中においても、いろいろと振り返り、見つめなおし、また新たな視点を持つことができました。こうした JICA の制度のおかげで、個人ではできない研修ができたことは、教師生活では得ることのできない研修であったと思います。多くの先生方にも伝え、薦めていきたいと思っています。



授業に役立つ！

開発教育指導者研修

開発教育って？参加型学習って？

どんな授業をしたら、効果的に子ども達に伝えることができるんだろう？

そんな先生方のために、地球上で起こる様々な問題や異文化を理解するための教材体験や、参加型ワークショップの実践方法を学ぶセミナーです。JICA 関西では、関西の各府県で実施しています。



- 内容** 開発教育／国際教育実践者の講演、ワークショップ体験など
- 対象** 学校教員、教育関係者、学生など開発教育・国際教育に関心のある方々
- 実施日** 各府県で開催時期や内容詳細は異なりますので、JICA 関西 HP イベント情報をご確認ください。
- 費用** 無 料（交通費、食費は参加者負担）

イベント情報



URL

体験者の声

国際教育・開発教育の歴史と発展がよく分かりました。

- 実践的な方法が学べ、これから実際の授業で活用できると思いました。
- いろいろな世代の方との議論を通じて、平和や国際問題、持続可能な社会について考えることができました。
- 実践的ロールプレイから今の日本の問題も見えて、とても面白かった。
- ワークショップではたくさんの方々の考えを知ることができ、大変参考になった。

お役立ちサイト

JICA 地球ひろばによる教員向けのお役立ちサイト「開発教育・国際理解教育サイト」では、授業の実践やより一層の充実を目指す教員の皆様のために、様々な情報を提供しています。

授業の指導案や実践事例、教材、国際社会の情報等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

開発教育・国際理解教育サイト

⇒<https://www.jica.go.jp/cooperation/#anchor5>

お役立ちサイト



URL

国際理解教育・開発教育支援教材（例）

教育現場で役立つ教材を無料で提供しています。ホームページからもダウンロードすることができます。

●学校にいきたい！



開発途上国の子どもの問題や国際協力について考える

●つながる世界と日本



ごはん編、ヒト編、モノ編、エネルギー編それぞれの分野で日本と世界のつながりを紹介

●共につくる私たちの未来

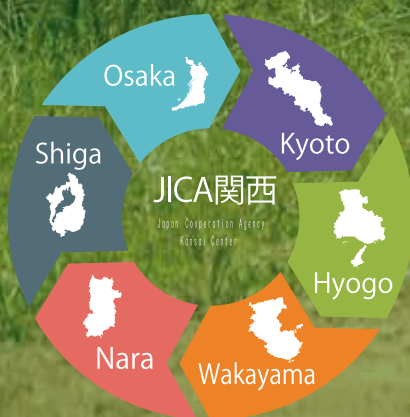


SDGsの基本を日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介も交えて学ぶ

MEMO

あなたの街の JICA デスク 国際協力推進員

国際協力推進員は「地域の JICA 窓口」として、2 府 4 県で国際協力のご相談に応じています。
国際協力をしてみたい、開発教育に取り組みたい、JICA ボランティアに参加したい…など、お近くの
国際協力推進員にお気軽にご相談ください。



● JICA滋賀デスク
配置先: 公益財団法人滋賀県国際協会
TEL: (077) 526-0931 FAX: (077) 510-0601

● JICA奈良デスク
配置先: 奈良県外国人支援センター
TEL: (0742) 81-3830

● JICA京都デスク
配置先: 公益財団法人京都府国際センター
TEL: (075) 681-1131(直通) FAX: (075) 681-2508

● JICA和歌山デスク
配置先: 公益財団法人和歌山県国際交流協会
TEL: (073) 435-5240 FAX: (073) 435-5243

● JICA大阪デスク
配置先: 公益財団法人大阪府国際交流財団
TEL: (06) 6966-2400 FAX: (06) 6966-2401

● JICA兵庫デスク
配置先: 公益財団法人兵庫県国際交流協会
TEL: (078) 230-3260 FAX: (078) 230-3280

(写真提供: 川崎芳勲)



独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西) 市民参加協力課
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
電話: (078) 261-0384(課直通) FAX: (078) 261-0357
URL: <https://www.jica.go.jp/kansai/>



2025 年 3 月発行